

名古屋工業大学工学教育総合センター
第1回FD研究会

授業の英語化を デザインする

—英文シラバスを起点として—

授業の英語化に関する研究会では、前年度の導入的・総論的な内容をうけて、2017年度は各論に入ります。今回のトピックは、英文シラバスと、授業で使用する英語そのものです。大学において、授業の設計図がシラバスであるとするれば、英語化された授業を設計する基礎となるのが、英文シラバスになります。

授業の単なる内容紹介にとどまらない英文シラバスの発想法や作成法について、高等教育開発を専門とする講師に解説していただきます。

あわせて、授業で使用する英語の中身や、教授法の考え方についても、議論を深めます。

日時 **5月23日(火)** 15:00-17:20

会場 **名古屋工業大学 3号館2階0322講義室**

プログラム

15:00-15:10 開会挨拶 工学教育総合センター長 森 秀樹

15:10-15:15 趣旨説明・講師紹介 工学教育総合センター教授 永井 正司

15:15-16:45 海外で通用する英文シラバスの作成方法
大阪大学・全学教育推進機構准教授 佐藤 浩章

16:45-16:55 Tips for English Medium Instruction (EMI)
工学教育総合センター准教授 Brian Cullen

16:55-17:05 EMI vs. Content and Language Integrated Learning (CLIL)
工学教育総合センター教授 永井 正司

17:05-17:20 質疑応答

入場
無料

講師紹介

佐藤 浩章 氏

専門は、高等教育開発。King's College London (KCL) 客員研究フェロー、北海道大学客員准教授、国立教育政策研究所客員研究員等を歴任し、現在、大阪大・全学教育推進機構の准教授。

講演 **海外で通用する
英文シラバスの作成方法**

日本のシラバスは、海外で一般的なシラバスとは異なっています。何が違うのか、どこを変えればよいのか。大学のグローバル化が進む中、海外でも通用する英文シラバスを書く方法をお伝えします。

問い合わせ先

名古屋工業大学 TEL : 052-735-5066
E-mail : gakumu-tan@adm.nitech.ac.jp

交通アクセス

JR中央線 鶴舞駅、
地下鉄鶴舞線 鶴舞駅 東へ徒歩約7分